

免疫・リウマチ内科

1. 診療科の概要

免疫・リウマチ内科では、膠原病・リウマチ性疾患をはじめとする全身性炎症性疾患の診療を主として担当している。時に不明熱・診断未確定疾患を取り扱うこともあり難解な病態の診断・解明を行うが、その基本にあるのは内科医としての基本的な病態解明能力であり、また様々な臓器の障害を伴うこともあり、内科医として単一臓器にとどまらない広範な知識の習得を目指す。それにより全身諸臓器の幅広い知識を持った内科専門医、膠原病・リウマチ内科専門医の育成を行っている。さらには生物学的製剤による分子標的治療の習得を初めとして免疫学のエキスパートとしての基本能力の育成を行っている。同時に内科以外の他領域（整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科など）との連携およびその知識の習得を行っていく。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：高橋 裕樹

指導医：高橋 裕樹、神田 真聡

3. 研修担当者

氏名：神田 真聡

連絡先：mkanda@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：9時00分

集合場所：臨床教育研究棟4階 免疫・リウマチ内科学教室（消化器内科実験室内）

5. 到達目標

- ・外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
＜ショック、体重減少・るい瘦、発疹、発熱、頭痛、意識障害・失神、けいれん発作、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・咯血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下＞
- ・外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
＜心不全、大動脈瘤、高血圧、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、急性胃腸炎、消化性潰瘍、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、糖尿病、脂質異常症＞
- ・膠原病・リウマチ内科で扱う主要な疾患の病態を理解し、その診断法および治療方針の決定ができる。また、医師として最低限必要なプレゼンテーション能力を身につける。

6. 研修内容

(1) 回診とカンファレンス

- ・夕方の机上回診、週1回の入院カンファレンスにて症例のプレゼンテーションを行う。

(2) セミナー、研究会および学会への参加

- ・週1回 英文論文の抄読会を行う。
- ・下記にあげる学会などへの参加を促す。
- ・症例報告に値する患者さんを担当し発表する機会があれば、積極的に行っていく。
 - ・日本内科学会 北海道地方会
 - ・日本リウマチ学会総会・学術集会、および北海道・東北支部地方会
 - ・日本内科学会総会・講演会
 - ・日本臨床免疫学会総会
 - ・日本アレルギー学会北海道地方会 など

(3) 学生指導

- ・臨床実習に参加する医学生の担当症例について、病態、診断・治療法を説明することができるように指導を行う。

7. 研修医の主な業務

- ・研修医は、入院患者の主な担当医として、朝夕の回診、処方や検査などの指示を行い、指導医に相談しながら診断へのアプローチ、治療方針を決定する。
- ・カンファレンスでは担当医としてプレゼンテーションを行う。
- ・希望により外来研修（院外を含む）を行うことができる。

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		回診	病棟業務 新患外来				病棟業務 新患外来		机上 回診			
火		回診	病棟業務 専門外来				病棟業務 専門外来		机上 回診			
水		回診	病棟業務 新患外来 (院外研修)				病棟業務 新患外来		机上 回診			
木		回診	病棟業務 専門外来				病棟業務 専門外来		机上 回診			
金		抄読会	カンファレンス 総回診				病棟業務 教育外来					

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医機構基本領域専門医資格

- ・内科専門医

10. 研修協力施設

- ・たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
市立札幌病院、JR 札幌病院、斗南病院、NTT 東日本札幌病院、JCHO 北海道病院、
JCHO 札幌北辰病院、滝川市立病院、苫小牧市立病院、北見赤十字病院、帯広厚生病院、
釧路赤十字病院
- ・短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
栗山赤十字病院、札幌厚生病院